

Ⅱ 「安心」への取組

※指標・数値目標を設定した取組の番号は丸付き数字(①等)で、取組目標を設定した取組の番号は数字(10等)で表記しています。

(1) 食品表示の適正化

実施する取組	担当課室	令和3年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
① 「食品表示推進者育成講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品表示推進者を育成します。	食品・生活衛生課	食品表示推進者育成講習会を6回開催し、食品関係事業者202名が受講した。	概ね達成
② 食品販売所で販売等に携わる者を対象に、事業者個別の要望に応じた内容について出張で食品表示講習会を行います。	食品・生活衛生課	販売等に携わる事業者から食品表示講習会の要望を受け付け、保健所と連携し、講習会を4回開催した。	達成
③ 農産物直売所における食品表示巡回監視において、不適正な表示をしている事業者に対し、講習会を行います。	食品・生活衛生課	巡回監視において、不適正な表示をしていた事業者等を対象に、直売所向け講習会を開催した。	達成
4 食品・生活衛生課及び各県立保健所に食品表示相談窓口を設置し、事業者等からの相談にワンストップで対応します。	食品・生活衛生課	食品・生活衛生課及び各県立保健所(支所)が相談窓口として事業者等からの相談を受け付け、関係課室と連携のもと、相談対応を行った。令和3年度の相談件数は、県全体で743件であった。	(達成)
⑤ 食品衛生監視指導計画に基づき食品表示の監視指導を実施するとともに、夏期及び年末において食品表示の一斉監視指導を実施します。	食品・生活衛生課	食品衛生監視指導計画等に基づき表示を行っている施設において、表示の確認を行い、不適正な表示について改善指導を行った。	達成
⑥ 「食品表示法」施行に係る経過措置期間終了に伴い、広域スーパーマーケット等への重点監視を行います。	食品・生活衛生課	広域スーパーマーケット8事業者に対し、食品の表示を確認した。	達成
⑦ 食品衛生法に基づく許可が不要な食品(農産物、農水産物の単純加工品)が多く販売されている農産物直売所において、食品表示の監視を行います。	食品・生活衛生課	農産物直売所44店舗において、食品の表示を確認し、不適正な表示について改善指導を行った。	達成
⑧ 「食品表示ウォッチャー」を依頼し、食品表示の状況を消費者の視点からチェックします。	食品・生活衛生課	30名のウォッチャーを設置し、年間で553店舗、4,204回モニタリング活動があった。食品表示等に関する報告が59件あり、うち45件は疑義情報として受理し、事業者に指導を行った。	未達成
⑨ 違反広告に関する指導事例を広告監視担当者会議で共有し、同様の違反広告の監視指導の強化や迅速化を図ります。	業務課	広告監視指導に関する担当者会議を開催(2回)し、県内業者が健康食品に医薬品の効能効果を記載していた事例及び他自治体がインターネット監視において確認した違反事例について情報共有した。	未達成
10 「食品表示110番制度」を設け、消費者、事業者等からの通報に対応することにより、不適正な食品表示を排除します。	食品・生活衛生課	食品表示に関する疑問や相談に対し、表示制度等を分かり易く説明した。また、不適正な表示が疑われる情報等は、必要に応じて事業者に調査等を実施、適正表示の徹底を指導した。	(達成)
11 医薬品医療機器等法に違反する食品表示がないように、パンフレットやインターネットなどの広告について監視指導を行います。	業務課	272件の広告を監視し、医薬品医療機器等法に違反する広告(4件)について改善指導した。	(達成)

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	令和4年度取り組み予定
① 講習会の新規受講事業所数(累計)	目標値	—	—	1,500事業所	食品表示推進者育成講習会を5回開催予定。
	実績値	1199事業所	1221事業所		
② 講習会の開催回数	目標値	4回	4回	4回	販売等に携わる事業者から食品表示講習会の要望を受け付け、保健所と連携し、講習会を開催する。
	実績値	1回	4回		
③ 講習会の開催回数	目標値	2回	2回	2回	食品等事業者(加工・製造者)の監視指導時において、食品の表示を確認し、必要な場合に改善等の指導を行うとともに、直売所向け講習会を開催する。
	実績値	2回	2回		
4 迅速かつ適切な対応	目標値				引き続き、迅速かつ適切な相談対応を行う。
	実績値				
⑤ 食品衛生監視指導計画に基づく実施率	目標値	100%	100%	100%	引き続き実施予定。
	実績値	100%	100%		
⑥ 重点監視事業者数	目標値	8事業者	8事業者	8事業者	広域スーパーマーケットに対し、食品の表示を確認し、必要な場合には改善に向けた指導を行う。
	実績値	8事業者	8事業者		
⑦ 巡回調査店舗数	目標値	30店舗	30店舗	30店舗	農産物直売所において、食品の表示を確認し、改善に向けた指導を実施する。
	実績値	34店舗	44店舗		

⑧	食品表示ウォッチャーによるモニタリング回数	目標値	5,460回	5,460回	5,460回	30名のウォッチャーを設置し、モニタリングによる活動報告をもとに、事業者に指導を行う。
		実績値	4,115回	4,204回		
⑨	広告監視担当者会議の開催回数	目標値	3回	3回	3回	本年度も引き続き、担当者会議を開催し、違反事例等を共有することで、監視指導の強化や迅速化を図ります。
		実績値	1回	2回		
10	調査及び指導の迅速な実施	目標値				引き続き、消費者や事業者等からの疑問や相談、通報を受け付け、迅速に対応する。
		実績値				
11	迅速な改善指導	目標値				本年度も引き続き、広告監視を実施し、違反広告について改善指導を行います。
		実績値				

(2) 人の健康に役立つ食品表示の推進

実施する取組	担当課室	令和3年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)			達成度 (自己評価)
12 「健康食品製造業者連絡協議会」の研修を開催し、表示、広告及び販売方法の適正化を図ります。	食品・生活衛生課	健康食品の表示、広告および販売方法の適正化を図るため、研修会を1回開催した。			達成
⑬ 事業者ニーズに基づき、表示対象となる食品の機能性成分の分析方法を拡充しつつ、受託試験を行います。	工業技術センター	前年に引き続きカンキツ類のフラボノイド(ナリルチン、ノビレチン)やキノコに含まれているエルゴステロール、ビタミンD2、β-グルカン、セラミドの定量を行った。			達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	令和4年度取り組み予定	
12	アンケートで「理解した」と回答した事業者の割合	目標値	100%	100%	100%	健康食品の表示、広告および販売方法の適正化を図るため、研修会を開催する。
		実績値	未実施	100%		
⑬	受託試験件数	目標値	6件	6件	6件	引き続き、受託試験・研究を行う。
		実績値	6件	6件		

(3) コンプライアンスの向上

実施する取組	担当課室	令和3年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)			達成度 (自己評価)
⑭ 「食品表示に係るコンプライアンス講習会」を開催し、事業所におけるコンプライアンスの徹底を図ります。	食品・生活衛生課	2月1日に原料原産地表示についてのコンプライアンス講習会を開催した。			概ね達成
⑮ 廃棄食品の不正流通防止のため産業廃棄物処理業者等への立入調査を行います。	循環型社会推進課	廃棄食品の不正流通防止のため産業廃棄物処理業者等への立入調査を行い、令和3年度の実績は、9件であった。			達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	令和4年度取り組み予定	
⑭	講習会の新規受講事業所数(累計)	目標値	—	—	682事業所	2月ごろに開催予定。
		実績値	未実施	563事業所		
⑮	食品残さに係る産業廃棄物処分業者等に対する立入調査件数(累計)	目標値	—	—	5件	本年度も引き続き、廃棄食品の不正流通防止のため産業廃棄物処理業者等への立入調査を行う。
		実績値	4件	13件		

(4) 生産から販売までの食品情報を公開するしくみ (トレーサビリティシステム)の導入と普及

実施する取組	担当課室	令和3年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)			達成度 (自己評価)
⑯ 米穀事業者を対象に、米トレーサビリティ法に基づく取引記録の作成・保存や産地情報の適正な伝達について啓発します。	果樹園芸課	国から疑義情報の回付のあった事業者に対し、法に基づく事業者の責務について説明・指導を行った。			達成
⑰ 牛トレーサビリティ法に基づき、耳標の適正な管理を指導します。	畜産課	トレーサビリティ制度について、関係機関と連絡調整・意見交換を実施するとともに、牛飼養農家に対して、耳標の適正な管理を指導。			達成
⑱ 商品に関する情報を正しく消費者に伝えるための手法を事業者に研修します。	食品流通課	「新食品流通基準対応セミナー」において、会社の衛生管理の取り組みや商品の概要について第三者に文書や記録で伝えるための、いわゆる「見える化」の研修を行った。その他、商談会に出店する事業者向けに予定していたセミナーはコロナ禍のため中止した。			未達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	令和4年度取り組み予定
⑯ 地域米穀事業者の違反件数	目標値	0件	0件	0件	本年度も引き続き、国から疑義情報の回付のあった事業者に対し、法に基づく事業者の責務について説明・指導を行う。
	実績値	0件	0件		
⑰ 牛飼養者への指導率	目標値	100%	100%	100%	引き続き、トレーサビリティ制度について、関係機関と連絡調整・意見交換を実施するとともに、牛飼養農家に対して、耳標の適正な管理を指導予定。
	実績値	100%	100%		
⑱ 研修会への参加事業者数	目標値	45事業者	45事業者	45事業者	上記の取り組みを継続する。
	実績値	38事業者	23事業者		

(5) 食に関する情報交換の推進

実施する取組	担当課室	令和3年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑲ 「食の安全推進会議」を開催し、関係課室間の施策の調整を行うことにより、効果的かつ効率的な施策の実施を推進します。	食品・生活衛生課	7月に関係課室へ第6次アクションプランの令和2年度実施結果の報告を行った。	未達成
20 「食品衛生管理指導計画」の策定前に県民の意見を募集し、計画に反映させます。	食品・生活衛生課	令和4年度食品衛生監視指導計画(案)についてパブリックコメントを実施し、広く意見を求めた。	(達成)
21 「食の安全県民会議」を開催し、施策に県民の意見を反映します。	食品・生活衛生課	8月、3月に会議を開催し、食品監視指導計画等について協議を行った。	(達成)
⑳ 「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣し、食の安全・安心に関する取組を紹介することで、食の安全への知識を深めていただくとともに、ご意見を頂きます。	食品・生活衛生課	新型コロナウイルス感染症対策のため、「出張！県政おはなし講座」の開催を見送った。	未達成
㉑ 広報誌等を活用し、消費者に向け食の安全・安心に関する知識の普及啓発を行います。	食品・生活衛生課	「県民の友」の7月号、12月号において食中毒予防等に関する啓発を行った。	達成
24 食の安全・安心ホームページ「食の安全・安心わかやま」から、迅速な情報発信を行います。	食品・生活衛生課	講習会やセミナーの開催案内、検査結果の公表等を行い、随時更新した。	(達成)
25 食品等による健康被害の発生またはその恐れがある場合は、速やかに公表します。	食品・生活衛生課	食中毒発生時に、速やかに公表を実施した。	(達成)
㉒ 消費者、生産者及び事業者が一緒に食のリスクについて考える機会を設けます。	食品・生活衛生課	添加物をテーマに食の安全シンポジウムを、食中毒をテーマに食の安全意見交換会を、株式会社ウメタで食の安全親子教室を開催した。	概ね達成
㉓ 「食の安全意見交換会」を開催し、「身近な食のリスク」について意見交換を行う機会を設けます。	食品・生活衛生課	食中毒に関する食の安全意見交換会を開催し、15名が参加した。	達成
㉔ 事業者の安全・安心の取組を消費者に理解していただく機会を設け、事業者と消費者間に「顔の見える関係」の構築を推進します。	食品・生活衛生課	児童及びその保護者12名に対し、株式会社ウメタと協働で事業者における食の安全・安心の取組について講義を行った。	未達成
㉕ 食の安全サポーターを公募し、食の安全・安心に関する情報を発信してリスクコミュニケーションを推進します。	食品・生活衛生課	食の安全サポーター通信の送付(4回)、食の安全親子教室案内の送付(1回)、食の安全シンポジウム案内の送付(1回)、食の安全意見交換会案内の送付(1回)、県民アンケート調査結果の送付(1回)により情報提供を行った。	達成
30 食品衛生監視指導計画及び結果を公表します。	食品・生活衛生課	令和3年度の食品衛生監視指導計画を令和3年4月1日に公表した。実施結果については令和4年6月中に実施予定	(達成)
31 食品検査の結果を公表します。	食品・生活衛生課	各食品検査の結果を、速やかに県ホームページで公表した。実施検体数は1,328件	(達成)
㉖ 安全・安心な「和歌山県産」ブランドの構築に取り組みます。	食品流通課	商談会やイベントにおいて「おいしい健康わかやま」をキャッチフレーズに、和歌山県産食材機能性ガイドを活用したPRを行った。また、ダイエット&ビューティフェア2021で、たななし柿、ハナビラタケ、じゃばらを紹介。和歌山県機能性食材セミナー(もっとわかやま食材の魅力を知ろう!! 料理研究家が教える和歌山食材の魅力 講師:島本美由紀氏)を開催した。	未達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	令和4年度取り組み予定
⑲ アクションプランの目標達成率(累計)	目標値	—	—	100%	必要に応じて「食の安全推進会議」を開催し、県組織を横断した食の安全・安心施策を推進する。
	実績値	68.4%	78.6%		
20 計画案に対する意見募集	目標値				令和5年度食品衛生監視指導計画(案)について、令和5年2月頃にパブリックコメントを実施する予定。
	実績値				
21 課題や計画についての意見の聴取	目標値				今後も開催に関しては必要な議題等の精査を行いながら適切に行っていく。
	実績値				
⑳ アンケートで「理解した」と回答した参加者の割合	目標値	100%	100%	100%	県民を対象に食の安全・安心に関する研修会を開催する。
	実績値	87.5%	—		
㉓ 啓発を行った世帯数	目標値	全世帯	全世帯	全世帯	引き続き実施予定。
	実績値	全世帯	全世帯		
24 迅速な情報発信	目標値				食の安全・安心に関する情報を迅速に発信する。
	実績値				
25 迅速な公表	目標値				食中毒等が発生した場合、迅速に公表する。
	実績値				
㉔ アンケートで「有意義であった」と回答した参加者の割合	目標値	100%	100%	100%	8月に食の安全親子教室を、2月に食の安全意見交換会を開催する。
	実績値	—	96%		
㉕ アンケートで「自分の食生活に活かせる」と回答した参加者の割合	目標値	100%	100%	100%	アレルギーに関する食の安全意見交換会を開催する予定。
	実績値	96%	100%		
㉘ 工場見学の受入れ協力事業者数(累計)	目標値	—	—	13事業者	本年度は8月に開催予定。
	実績値	4事業者	5事業者		
㉙ 情報の発信回数	目標値	6回	6回	6回	食の安全サポーター募集とともに、テーマを検討し、情報提供を実施していく。
	実績値	1回	8回		
30 県ホームページでの公表	目標値				令和4年度の食品衛生監視指導計画を令和4年4月1日に公表した。実施結果については令和5年6月中に実施予定
	実績値				
31 県ホームページでの公表	目標値				引き続き実施予定。
	実績値				
㉚ 商談会やイベントにおいてPRした回数	目標値	120回	120回	120回	上記の取り組みを継続する。
	実績値	50回	50回		

(6) 認証制度の充実

実施する取組	担当課室	令和3年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑳ 「ふるさと認証食品認証制度」により、安心できる特産加工食品を認証します。	農業環境・鳥獣害対策室	4品目、82点を認証(新規:16点、更新66点)。認証品目数(累計)は5品目、認証食品数(R4.4.1現在)は243点。 ①梅干し・調味梅干し:220点、②味付けぼん酢:2点、③だいのんの漬物:5点、④果実ジュース:15点、⑤黒大豆・黒豆煮:1点	達成
㉑ ふるさと認証食品認証制度の概要と認証食品等をホームページで公表します。	農業環境・鳥獣害対策室	制度概要や、前年度までに認証した認証食品、認証食品を製造する者を県ホームページにて公表した。	(達成)
㉒ 安全・安心を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」優れた県産食品を「優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度」により認定・推奨します。	企業振興課	プレミアム和歌山新規・更新認定申請のあった県産品について、食品表示法、薬機法等、食の安全・安心に関する法令審査を実施。法令違反や不適切な表示等があった場合は、是正させたうえで認定を行った。新規155商品、更新218商品を認定した。	(達成)

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	令和4年度取り組み予定
㉓ 認証品目数(累計)	目標値	—	—	5品目	県民の友やホームページに募集記事を掲載して制度を周知し、新規認証の増加を目指す。
	実績値	5品目	5品目		
34 県ホームページでの公表	目標値				前年度末に認証した認証食品や、認証食品を製造する者をホームページにて公表する。
	実績値				
35 安全・安心を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」優れた県産食品を「優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度」により認定・推奨します。	目標値				安全・安心を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」優れた県産食品を「優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度」により認定・推奨します。
	実績値				

(7) 環境にやさしい食品づくり

実施する取組	担当課室	令和3年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
③⑥ 化学肥料と化学合成農薬を使用しない、または県慣行使用量の半分に減らして栽培された農産物の生産拡大を推進します。	農業環境・鳥獣害対策室	県内特別栽培実施面積: 171.27ha 県内有機農業実施面積: 95.67ha	概ね達成
③⑦ 土づくりや化学肥料・化学合成農薬の使用の削減に取り組む「エコファーマー」の新規認定数を拡大します。	農業環境・鳥獣害対策室	エコ農業を目指す者(エコファーマー)として、那賀: 3人、伊都: 1人、有田2人、日高3人を新規に認定した。	未達成
③⑧ 環境保全型農業の普及を推進するため、IPM(総合的病害虫・雑草管理)の実践程度を把握するための指標及び評価手法を開発します。	農業試験場	エンドウのIPM(総合的病害虫管理)実践指標を更新した。 更新内容: ハナアザミウマに対する効率的な防除手法を追加。	概ね達成
③⑨ IPM防除の実践や環境保全型農業の推進に関する技術研修を行います。	果樹試験場	計5回の研修会において、カンキツの主要病害虫の生態やIPMに基づいた防除対策についての研修を行った。	未達成
④⑩ 養殖漁場の環境モニタリング調査を実施し、養殖業者へ情報提供を行うとともに適切な漁場利用について指導を行います。	水産試験場	5月24日、9月14日、10月27日に養殖漁場の環境指標となる水質、底質、底生生物等を7地点で調査した。(秋の調査は9月と10月に分けて実施。)	達成
41 漁場改善計画に則した養殖漁場の改善に努めます。	資源管理課	漁場改善計画を立てた漁場については計画に沿った適切な管理が行われた。	(達成)

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	令和4年度取り組み予定
③⑥ 認証取組面積(累計)	目標値	—	—	280ha	環境保全型農業に関する研修会を実施し、特別栽培や有機農業の取組者増加を目指す。
	実績値	277ha	267ha		
③⑦ エコファーマー新規認定件数	目標値	40件	40件	40件	研修会を実施して、エコ農業の技術指導等を行い、エコファーマーの新規認定数増加を目指す。
	実績値	6件	9件		
③⑧ 総合的病害虫・雑草管理実践指標の品目数(累計)	目標値	—	—	16品目	イチゴのIPM(総合的病害虫管理)実践指標を更新予定。 更新内容: (イチゴ)炭そ病を予定。
	実績値	15品目	15品目		
③⑨ 研修会の参加人数	目標値	150人	150人	150人	今後も引き続き、環境保全型農業に対する意識向上を図るため、農業従事者や指導機関担当者を対象とした研修を実施する。
	実績値	105人	100人		
④⑩ 漁場モニタリングの調査回数	目標値	2回	2回	2回	今後も引き続き調査を実施し、養殖漁場の環境を把握するとともに、適切な漁場利用について指導を行う。
	実績値	2回	2回		
41 漁場改善計画の履行確認	目標値				引き続き、漁場改善計画に沿った適切な管理を通じて、養殖漁場の改善に努める。
	実績値				